

令和5年度 3年D組 学級経営方針

担任 飯田 恭陽

1 生徒数 男子 19名 女子 13名 計 32名

2 学級目標 「三十3D一音 Decide! Design! Do!」

学年目標である「百打一音」(多くの人がそろって手を叩くと、とても心地が良い響きになるという意)を受けて、さらに3年D組の生徒一人ひとりが音を大きく打ち鳴らし、学級全員で心の芯まで震えるような響きを生み出せるクラスにしていく。また、3つのDとして、Decide(やると決め)、Design(完成形を思い描き)、Do(実行する)を行う学級を目指す。なお33は、生徒32名と担任1名を合わせた人数とする。

3 生徒の様子

授業では、授業者の話をしっかりと聴き、集中して取り組んでいる。忘れ物等も少なく、遅刻もなく、学校における基本的な生活習慣を身に付けている生徒が多い。給食時や清掃時は、互いに協力して効率よく各当番業務等を行おうとしており、三学年としての毎日の生活を充実したものにしようとする意欲が見られる。ただし、家庭学習の習慣や、夜更かし等の生活習慣に関して、不安定な生徒も複数おり、家庭からの提出物が必ず遅れる等の課題が見られる。

4 学級経営の重点事項

「あいうえお」のあるクラス

- (1) あ：あいさつ (社会生活の中で礼儀の意義や役割を理解し、感謝の心を育てる。)
- (2) い：いじめのない (誰に対しても公正・公平に接し、いじめや差別・偏見をなくそうとする心を育てる。)
- (3) う：うつくしい (教室等を綺麗に保つことで、安心して過ごせる環境を作る。)
- (4) え：えがお (学校が好き、友達が好き、先生が好きと笑顔で言えるように自己肯定感を伸ばす。)
- (5) お：おもいやり (学級の仲間と関わり合い、温かい人間愛を深め、誰に対しても思いやりの心をもって、ともに生きようとする意欲を育てる。)

5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

- (1) 朝の挨拶や毎授業の始礼・終礼時に全員がしっかりと声を出すように促し、廊下で教員とすれ違う時などにも常に挨拶を通して、生徒の様子を確認していく。
- (2) 学校教育のあらゆる取組において、常に人権感覚を意識し、機会を捉えて声掛けや指導を行う。
- (3) 学習環境を整理・整頓し、衛生的にも清潔に保つようにする。消しゴムの塵等を床に捨てることのないように適宜指導する。毎授業の始礼・終礼時に机の並びを確認し、常にあるべき姿を意識させる。
- (4) 学級におけるあらゆる活動で、係や委員会・友人関係等のそれぞれの立場を尊重し、寛容の心をもって、いろいろなものの見方や考え方があることを理解できるように適宜指導を行う。特に、給食指導時・清掃指導時に、お互いに思いやりをもって協力する姿を捉えて認めていき、必ず声をかける。